

# 小栗上野介情報 50

ホームページ <http://tozenzi.cside.com/>

Eメール: [sharmila@theia.ocn.ne.jp](mailto:sharmila@theia.ocn.ne.jp)

発行 東善寺 住職 村上泰賢

群馬県高崎市倉渕町権田169

〒: 370-3401 TEL&fax: 027-378-2230

振替 00120-1-406206 東善寺



## 日仏交流は横須賀造船所から

日本の本格的な日仏交流は横須賀造船所建設指導に当たった仏人技師たちとの交流から始まっています。



# フランス祭り 2011

## 群馬の日仏交流の特徴

11月

- 1、横須賀造船所建設の功労者小栗忠順の墓と胸像、建設の現場責任者で仏語を話せた栗本鋤雲の胸像が東善寺(高崎市倉渕町)境内にある
- 2、横須賀から派遣されたフランス人技師と大工の指導で建設・経営された富岡製糸場の建物が現存している
- 3、中島知久平(尾島町出身)は横須賀の海軍機関学校で学び、海軍航空機研究所で働いたのち、太田に中島飛行機(現在富士重工)を興す
- 4、県内とフランスの有力企業が両国で生産・販売活動中

## 横須賀から始まった日本の産業革命

横須賀は日仏交流の原点であると同時に、日本の産業革命の地でもあった。従来、日本の工業の原動力といえば人力・牛馬・水車まで。横須賀製鉄所ははじめてから蒸気機関を原動力としていたから「蒸気機関を原動力とする日本最初の総合工場」といえる。司馬遼太郎が「日本の近代工学のいっさいの源泉」(「三浦半島記」)と書いたのは、このことを指す。

いま蒸気機関を直接目にする機会は少なく、ほとんどが電気が原動力と思われがちだが、その電気は水力・風力・太陽光発電以外は石炭・ガス・石油による蒸気発電が主力であり、問題となっている原子力発電も核反応の熱で沸かした蒸気でタービンを回し発電しているから、蒸気機関の一つと言える。核反応だけで電気が生まれているわけではない。

遣米使節の新見・村垣・小栗ら三名は、アメリカへ派遣されるに際して「自分たちはアメリカの軍艦ボウハタン号で行くから、船にはアメリカの国旗が付けられている。しかしわれわれ日本の代表も乗っているという印の旗が必要だ」という。ついでに「船の印」として使っている日の丸を「国の旗」としてつけてゆきたいが、いかがでしょう」(幕末維新外交史料集成 第四巻)

という上申書を提出、認められてボウハタン号に掲げました。「船の印」だった「日の丸」が「国の印」に昇格したことになります。その情報、準備の為に先行した米人によって伝えられ、このように日の丸でワシントン上陸を歓迎する情景が生まれました。▼

## 国旗日の丸を定めた・遣米使節

遣米使節の新見・村垣・小栗ら三名は、アメリカへ派遣されるに際して

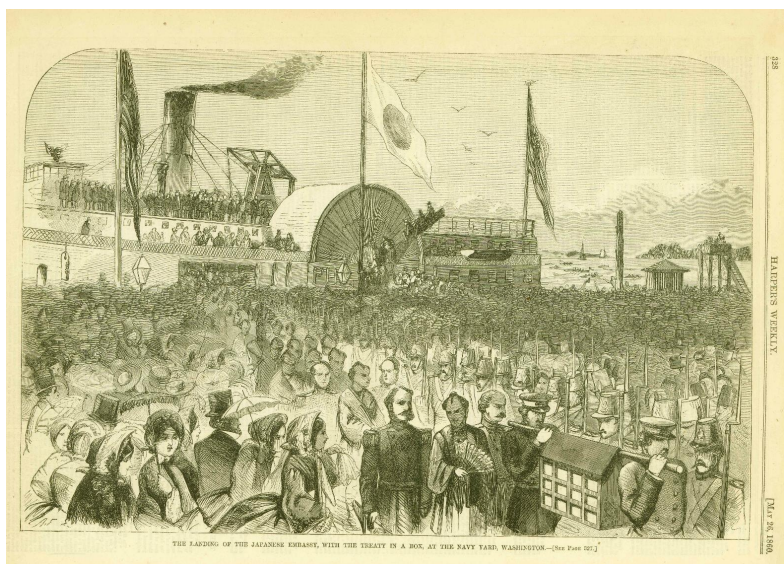
残しておきたいと、掲げています。



はー

## 旗の意味

東善寺の東駐車場の旗竿に翻る旗は何ですか、とよくたずねられます。下の旗は「丸に立浪」の小栗家と東善寺の旗ですが、上の長い旗は徳川幕府の船印として使っていた「中黒」と呼ばれる旗です。遣米使節の渡米まで日の丸の国旗は決まっていなかったのです。来日したペリー提督はしきりに見かけるこの幕府の船印が日本の国旗と思っていたらしい。こういう歴史も



## 情報あれこれ

本

◇ 小栗上野介顕彰会機関誌

「たつなみ」36号 発行

主な目次は

○小栗まつり

・演奏会・講演記録「小栗上野介の日本改造」…村上泰賢

○高崎の「小栗上野介展」・式辞…市川平治会長・概要・記念演奏会  
・記念講演要旨「日本の心一近世から近代へ」徳川恒孝

○紙芝居「小栗上野介」の制作…唐沢祐太郎

○「小栗上野介の側室ウタ」は存在しない…村上泰賢

○ 千葉県内の小栗領と小栗上野介について…彦坂 徹

本の紹介…平凡社新書「小栗上野介」／「威臨丸、大海をゆく」／「勝海舟と福沢諭吉」

小栗上野介顕彰のあゆみ など。

東善寺でも販売します。東善寺「たつなみ会」会員には発送しました

◇ 歴史読本別冊「横須賀」



新人物往来社から歴史読本別冊

「横須賀」が発行されました。

これまで「米軍基地の街」あるいは「戦前は軍港だった」という、マイナスイメージで語られることの多かった横須賀が、実は古い歴史を持っていて、幕末に建設された横須賀製鉄所が日本の近代化を支える基幹工業の原点であったことが、紹介され

ています。さらに現代の横須賀の魅力として、食べる・泊まる

・遊ぶ・歩く視点からも幅広い取材がされていて、横須賀を訪ねる絶好のガイドブックとなっています。

\*1,000円（税共） 東善寺でも販売しています。

横須賀市で――

## ヴェルニー・小栗祭

11月12日(土)11時～ 横須賀市「ベイスайдポケット」



▲吉田市長を囲んで

ほか、クリスチャンポラック氏（日仏研究）・かながわ日仏協会会員などが参加。式が終わってからのティーパーティでは内田倉渚支所長（高崎市長代理）の音頭で乾杯しました。

小栗上野介顕彰会役員が参加。小栗上野介の業績が知られてきたことで多くの参加者があり、フランス大使代理・米軍基地司令官・遣米使節子

孫の会などの

## 小栗上野介祈念館

### の建設を計画中

東善寺では、これまで収集した資料を収蔵展示する展示館として「小栗上野介祈念館」の建設計画を準備しています。

「祈念館」の名称は…罪なくして西軍に斬られた小栗上野介父子と殉難の家臣・家族、村人らの冥福を祈り、名誉回復をはかるための施設という意味です。

建設場所は…境内西隅の遺品館と物置の位置を整理して建設

規模は…木造2階建

経費は…目下設計中の為予算立てができませんが、宗教法人への公的支援はありませんから、住職個人の教員退職金と少しの蓄えを基本としています。

募金について…今後の経過の中で発表しますが、充実した施設とするため、ご支援いただければ幸いです。



会員になって下さい――

東善寺 たつなみ会

倉渚町の小栗上野介顕彰会では機関誌『たつなみ』を発行(年1回)しています。東善寺の「たつなみ会」会員になっていただければ、「小栗上野介情報」や「東善寺だより」など、東善寺発行の小栗上野介・幕末関連の情報とともに、『たつなみ』誌を発行のつどお送りし、会費が顕彰会の活動資金となっています。倉渚地区の人口減で顕彰会員が減っていますので、「たつなみ会」会員の増加を期待します。

□お申し込みは：東善寺へ メールまたは電話、ハガキで

□会費 年1300円 郵便振替「東京00120-1-406206東善寺」へ